

音 楽 科



第33回定期演奏会（合奏）



白梅祭ミュージカル「エリザベート」

1 学科の特色

音楽が好きで音楽を学ぶ意欲のある人にとって最もふさわしい、専門的な学科です。声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器打楽器、作曲のいずれかを専攻し、3年間を通してマンツーマンの指導を受けます。レッスンの担当者は演奏者としても優れた先生方です。その他に、著名な演奏家や指導者による公開レッスンやセミナーを年2回行います。主な演奏活動は定期演奏会（7月・サラマンカホール）と卒業演奏会（12月・サラマンカホール）で、一般公開されます。また校内では白梅コンサートがあります。2年生にはプラハ・ウィーン・ザルツブルクへの海外研修旅行で、プラハ音楽院のレッスン受講、ウィーンでのオペラ鑑賞やモーツァルトなど音楽家ゆかりの地を訪れて、音楽について研修を深めます。また、特別養護老人ホームへ訪問して、年2回ボランティア演奏会を行ったり、地元地域主催のコンサートに出演しています。演奏を中心とした学習を通して、人間性豊かな、音楽文化の発展に貢献する人材の育成を目指しています。

2 学習内容（音楽専門科目について）

各専攻のレッスン：声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器、打楽器、作曲の専攻別（2年生から）に、1対1で指導を受け、専門家としての技能を高めます。

音楽理論：「楽典」と「和声」を学習し、楽譜を読む力や音楽について理論的に思考する力を付けます。

音楽史：西洋音楽史と日本音楽史を学習します。

演奏研究：アンサンブルを通して、音楽作品の演奏方法を研究し、主体的に表現する力を付けます。

ソルフェージュ：「聴音」と「視唱」により、音楽性豊かな表現をするための基礎的な力を付けます。

合唱・合奏：合唱、弦楽合奏、管楽合奏に分かれて活動し、定期演奏会、卒業演奏会などで演奏を披露します。

3 進路状況

主に、国公立の芸術大学、教育学部や私立の音楽大学、教育学部へ進学します。大学卒業後はヨーロッパなどへ留学して、さらに研鑽を積む人もいます。卒業生は、教員、指導者、演奏家として幅広く活躍しています。



海外研修旅行の様子（プラハにて）



アクティヴGでのコンサートの様子